

令和4年11月10日

# マルキンだより



畜産PR大使「おーいたん」

公益社団法人 大分県畜産協会 TEL:097-545-6594  
FAX:097-554-4049

第140号

## 令和4年7・8・9月分交付金精算払単価公表

肉用牛肥育経営安定交付金制度の令和4年7・8・9月分の交付金精算払単価が公表されましたので、精算払いを行います。

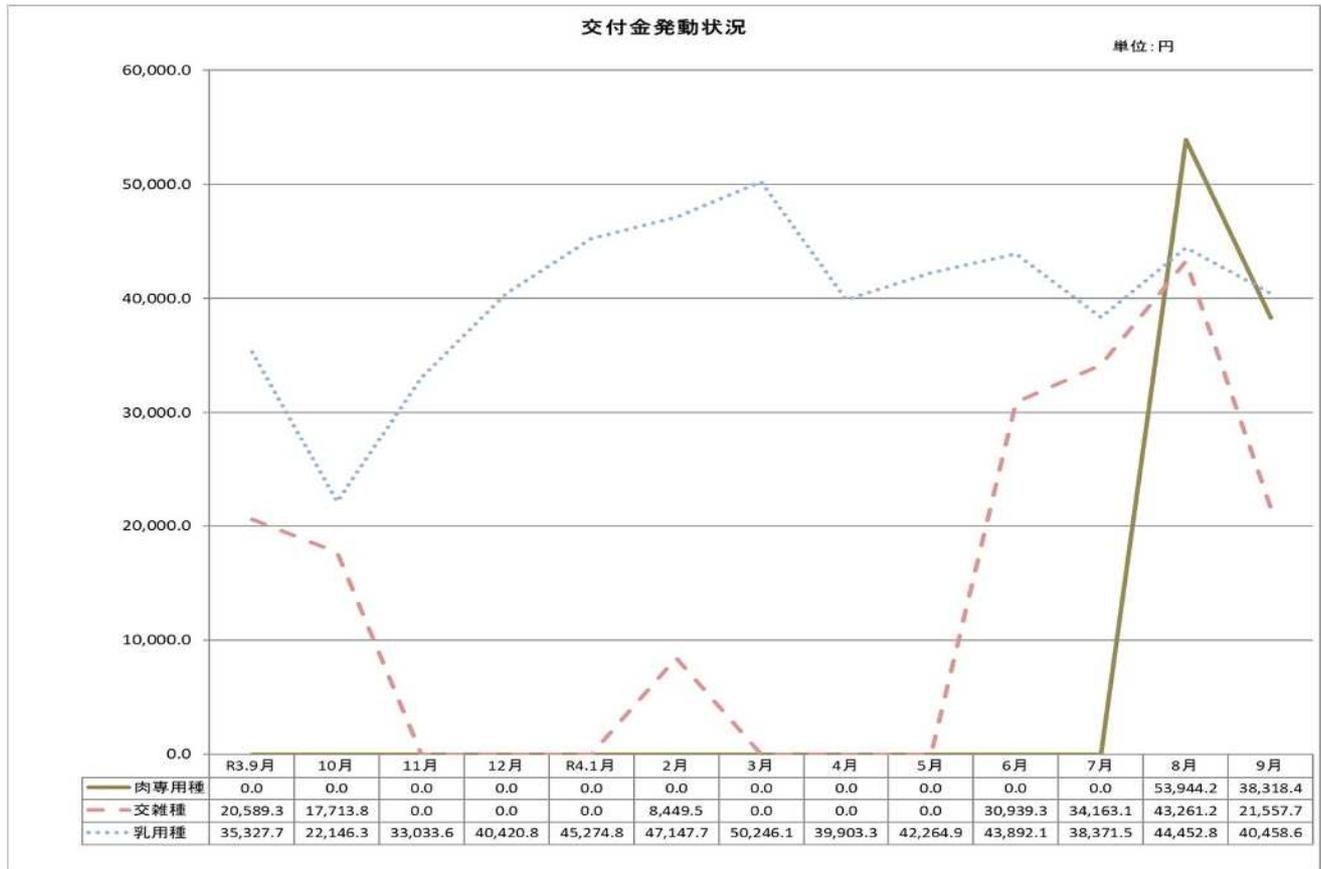
また、9月分の公表された交付金単価は、肉専用種38,318.4円、交雑種21,557.7円、乳用種40,458.6円の交付となります。肉専用種の発動はありませんでした。

詳細につきましては、肉用牛肥育経営安定交付金制度の交付金単価について【令和4年7・8・9月分】(独立行政法人農畜産業振興機構発行)をご覧ください。

### トピックス

●令和4年7・8・9月分の単価(精算払)が公表されました。

●7・8・9月分の交付金交付は、11月28日(月)を予定しております。



## 牛マルキン事業に関するホームページ

★公益社団法人 大分県畜産協会 <http://oaita.lin.gr.jp/>

当協会のホームページです。マルキン情報の他、市場結果、種雄牛情報等も掲載しております。

★独立行政法人 農畜産業振興機構 [https://www.alic.go.jp/operation/livestock/assistance-marukin\\_00002.html](https://www.alic.go.jp/operation/livestock/assistance-marukin_00002.html)

補填金単価の公表の他、単価算定に関する各種参考資料等が掲載されております。

## ★畜産物の市況展望【牛肉】

10月の牛枝肉価格は、オミクロン株の収束により外食需要が回復する中、外国人の入国制限の緩和と全国旅行支援制度の開始を見据えて手当てが活発化し上方修正された。ただ、個人向け消費は相次ぐ物価高騰などを背景に決して芳しくはなく、メリハリ消費の傾向が強く、外食の好調さとは裏腹に内食需要は今ひとつ伸び悩んでいる。

9月の牛枝肉価格は、和牛は去勢A5が前年比103円高の2,586円（前年同月比97円安）、同A4は110円安の2,302円（同12円安）、同A3は41円高の2,045円（同23円安）、同A2は34円安の1,772円（同18円安）。8月の盆明けから末端消費は低迷を続けたが、9月にコロナの新規陽性者数が減少に転じたことでようやく底打ちした。交雑牛もB4が15円安の1,687円（同32円安）、B3は9円高の1,505円（同10円安）、同B2は5円高の1,319円（同19円安）と需要の弱さが顕著で、相次ぐ価格高騰で消費マインドが低下し、内食需要の落ち込みが見て取れた。

10月11日からの外国人の新規入国手続きが撤廃されたのに伴い、全国旅行支援制度がスタート。政府の発表のタイミングが遅く旅行関係者の混乱や準備不足があったものの、ヒレ、ロースを中心にようやく外食向けの引き合いが増えてきた。社用接待が動き出したことも大きく、ホテルや高級レストランは活況を取り戻した。全国各地で人出が戻った。円安が追い風となって外国人観光客が増加し、バラなど焼肉用の部位も引き合いが強まっている。

一方、個人向け消費は普段の食生活は節約が続く。インフレが加速する中で「家計消費は年末の際前まで厳しい展開となるのでは」との指摘も聞かれる。気温が本格的に低下する11月からは鍋物需要の動きが良化するが、絶対量としては減少する可能性が高いとの見方。

以上のことから、和牛去勢A5で2,700円中心、A4で2,500円絡み、A3で2,200円。交雑種は去勢B3で1,600～1,650円と強気か。

（※公益社団法人中央畜産会 発行 畜産コンサルタント誌11月号 抜粋）